



議会だより

中土佐町

No.50

平成30年 8月25日発行

6月定例会



■福島県・宮城県で研修 2

■9人の議員が一般質問 5

■坂本健二造形展が開催 21

今回の主な内容

- 東北で研修 2
- 平成30年 6月定例会
 - 議案審議 4
 - 一般質問 5
 - 主な議案と議員の賛否 15
 - 委員会活動報告 16
 - 行政報告 17
- 議員の活動状況 18
- 追跡・声 21
- 地域で頑張る仲間 22

住民目線の 議会へ

津松市
会若

7月25日から27日の3日間、議会改革の先進地である福島県会津若松市と、大震災から復興が進む宮城県女川町等を視察した。

東北で研修

会津若松市議会の政策の流れ



①まず「市民との意見交換会」から



②市民意見をもとに「現地調査」



③意見交換会や現地調査などをもとに議員同士で練り上げる「政策討論会」

(写真は会津若松市視察資料から)



会津若松市議会議場での研修



議会改革の説明をする会津若松市議会の目黒議長と議員



会津若松市

住民に役立つ議会となるために

「議会改革の目的は、住民の間にある具体的問題、生活の不安、その解決・解消に議会が役に立つ存在になるということ」であった。きわめて、当たり前で明確な答えであった。

中土佐町議会においても、地域への出張懇談会等を行っているが、会津若松市議会は、平成20年に議会基本条例を制定。住民目線の議会づくりに取り組んでいる。今では、全国でもトップクラスの議会改革の取り組みを続けている。

具体的には、住民と議会との意見交換会の実施。ここでも出た意見を議員間で徹底して討議する。そして、政策として練り上げ、議会の総意として執行部に提言する。執行部がどう取り組むかについても、最後までチェックしていく。

住民の声を実現まで取り組んでいくという議会の仕組みである。議会が単なるチェック機関だけでなく、「住民に役立つ組織であるべきだ」という取り組みに感銘を覚えた。

地方の議会に、与党・野党はない。

議会と町長は、同じ住民から選ばれた代表である。このため、地方の議会には、与党・野党というものはない。あくまでも、住民から任された、議会・町長という二つの組織である。

お互い、住民にとってどうかという物差しで判断し、議論することが大事だとあらためて考えさせられた。

女川町 東松島市 仙台市

避難から復興へ



多くの人命を救った荒浜小学校
(資料写真から)



女川町の復興状況↑
を聞く議員



4年前の荒浜地区(中央白い建
物が荒川小学校)



総合運動公園につくられた災害住宅



非居住地となった現在の荒浜地区。
今後、観光農園等に整備予定。



東松島市野蒜(のびる)地区の高台に復興のため新しく整備
された住宅団地

避難から復興へ―被災地の教訓―

女川町

東日本大震災で最大の被災を受けた女川町は、現在、住民ぐるみで復興の取り組みが続けている。「何が一番大事か」の答えは「自分の命は自分で守る」という住民意識を常日頃から作っていくことだった。

浸水区域外に建てられた災害公営住宅を見た。そこは、以前は総合運動公園だった。中土佐町でも、浸水区域外にいざという時には、仮設住宅が建てられる場所の選定が必要だと痛感した。

また、避難所に逃げ延びた人々で常備薬を持参していた人は、ほとんどいなかったという。常備薬の所持が必要だと考えさせられた。

東松島市

「大事なものは水です。避難所に女性の着替えのできるところを、そして、臭い対策も必要です。常時マスクでした」と話された。今は、高台に宅地を造成、新しい街が整備されている。

仙台市・荒浜小学校

約800戸あった家が今はなく、一面の原野となっている。地区の唯一の高い建物だった荒浜小学校は、児童生徒、地区住民320人の人命を救った。

学校は、2階まで津波に洗われた痕跡が残されている。現在は、地震津波を語り継ぐ、新しい防災教育の場となっている。

中土佐町議会広報常任委員会

6月定例会

案議
議審

上ノ加江公民館取り壊し 新公民館完成まで旧保育所で

平成30年6月定例会が6月13日に開会しました。町長の行政報告、議案の提案理由説明、閉会中の委員会活動報告などが行われました。

18日・19日には一般質問（P5から関連記事）が行われ、9人の議員が、執行部の考えをたしました。

21日には議案の審議が行われ、専決処分8件を承認、上ノ加江公民館取り壊し工事費などを含む一般会計補正予算など6議案を可決、人権擁護委員選任の諮問3件を適任としました。また、陳情1件を採択、1件を不採択とし閉会しました。

専決処分

本来、議会が議決・決定する事項を、特定の場合に限り、地方自治体の長が処理すること。



取り壊し工事費が計上された上ノ加江公民館（左）と新公民館が完成までの間、公民館として利用される旧上ノ加江保育所（右）

中土佐町公共施設移転等事業における中土佐町商工会会員企業優先発注等に関する陳情

採択

陳情の趣旨は、公共施設移転等事業で、施工・機械設備・備品等で調達必要性が生じた場合は、可能な限り、中土佐町商工会会員企業への優先発注、もしくは中土佐町商工会会員企業を仲介した形での調達をしてもらいたいというものです。

総務常任委員会で審査した結果、このことは事業の経済効果を町内に波及させるためには当然必要なことであるが、陳情では、商工会会員企業と限定されているため、「他の町内事業者も直接受注機会が得られるよう配慮すべき」との意見を付して「採択すべきもの」と委員長から報告がありました。

これを受け、本会議で採決した結果、委員長の報告のとおり、全会一致で「採択」と決定しました。

用途廃止意見書の地盤確認調査を求める陳情

不採択

陳情の趣旨は、国から譲与されている土地の確認、財務局による同一と考えられる地番の現場確認、町は譲与されていると説明しながら用途廃止意見書が出されており矛盾があり、財務局による指導を受け、議会として審査することを求めるものです。

産業建設常任委員会で審議した結果、この件に関連する陳情の調査をこれまでも行っており、これ以上、議会として調査する必要はなく「不採択とすべきもの」と委員長からの審査報告がありました。

これを受け、本会議で採決した結果、「採択」とする議員はなく、「不採択」と決定しました。なお、執行部に対し、陳情者にご理解をいただけるよう努めることを申し添えました。

一般質問

～所信を問う～

6月18日・19日の2日間、一般質問が行われ、9人の議員がカツオ文化の日本遺産登録、移住対策、地域の伝統行事の存続問題、そして、図書室の問題などを取り上げました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。



佐竹 敏彦 ……P 6

- 田舎の土地に資産価値を
- カツオ文化日本遺産登録は



本井 康介 ……P 7

- スポーツ団体・個人へ助成を
- 公共事業で業者サービスは



下元 道夫 ……P 8

- 地域外商マネージャーは
- 鯉乃國水産の運営体制と業務の状況は



松下 裕之 ……P 9

- 教育長の所信は
- 移住対策事業は



窪田 和教 ……P10

- 就学援助費の入学準備費引き上げを
- 子どもの安全のためバス利用拡大を



山本 建生 ……P11

- 非正規職員の実態は
- 地域の伝統行事存続を



高橋 雄造 ……P12

- 高樋沈下橋を教育に
- 公園に遊具の整備を



山下世仁子 ……P13

- 図書室の現状と運営は
- 美術館の高台移転は



黒原 昭一 ……P14

- 種子法廃止の影響は
- 道の駅の看板を



佐竹 敏彦

田舎の土地に資産価値を

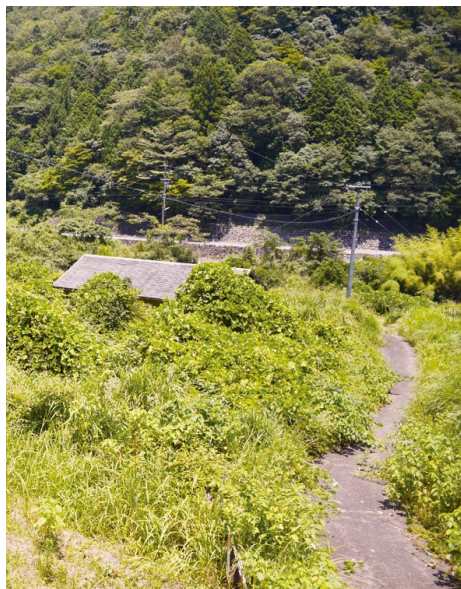
大変ゆゆしき問題

問 中国資本などの土地買収の本質は、田舎の土地が資産として無価値化していることだ。所有することが大きな負債となっているが、処分するにも処分できない状況だ。オールジャパンで制度を

改正する必要がある。町長は全国町村会副会長でもあり、資産価値を高める制度創設を提唱すべきでは。

池田町長 大変ゆゆしき問題だと承知している。政策として、国土・土地問題をどうするかを協議している。

所有者不明の土地は、全国で高知県の面積の6倍、九州よりも広く国全体の10分の1程度あり、町村会でも大きな問題と考えており、制度設計を進めなければならない。森林は所有者の同意を得て町が委託管理をする制度が始まっている。



手入れが行き届かないところが増えてきた町内の土地

問 かつお祭は今後も開催してほしい。行政報告で継続の意思を示したと認識している。

高知カツオ県民会議で、カツオの食文化を日本遺産登録へという動きがある。内容や中土佐町の役割は何か。

竹邑水産商工課長 かつお祭はスタッフの問題など厳しい運営が続いているが、春の高知県を代表する祭りに育っている。期

カツオ文化日本遺産登録は

本町が事務局引き受け

待に応えられるよう検討と準備を行っていきたい。

池田町長 日本遺産への登録は、地域経済を活性化させることができる。



多くのボランティアの協力で行われるかつお祭(写真は第5回かつお祭) →



今年も盛大に行われた↑第29回かつお祭

漁協・商工会等が中心となって↑行われた第1回かつお祭(あいさつする当時の池田武史町長、右側が故青柳裕介氏): 故林勇作氏著「年輪」より

登録条件は文化財を有することが要だ。久礼の漁師町が重要な文化的景観に選定されている。そのため、中土佐町が入らないと日本遺産構想が成り立たず、本町が事務局を引き受けることになる。日本遺産の登録は、非常に有益な事業と考える。

拉致アニメの上映は

問 拉致啓発アニメ「めぐみ」が全国小中高など3万7256校に配布されているが、町での上映状況はどうか。拉致問題は、基本的人権を剥奪・蹂躪する問題だ。

岡村教育長 配布当初、1校で授業している。昨年度と今年それぞれ1校が予定している。教材の使用は学校や教員に任されている。

その他の質問

- ▼ 公文書管理は
- ▼ 議会質問での回答に対する対応は
- ▼ 地産外商の商社化を債権の適正管理を
- ▼ 道徳教科書の採択は

スポーツ団体・個人へ助成を

宿泊費等財政係と相談

問 個人・団体が行っているスポーツを力強く後押しする助成が必要では。

岡村教育長 個人の町外への遠征費等は慎重に検討したい。町バスを使うなど移動手段は、前向きに対応できる。宿泊費等は財政係とも相談しながら慎重にやっていく。



本井 康介



町内各地でスポーツを楽しむ町民の皆さん

公共事業で業者サービスは

適正な設計変更で対応

問 本町の発注する公共事業で、業者にサービスをお願いすることはあるか。

鍋嶋建設課長 請負業者が負担しているとの苦情は現在のところきていない。ただし、創意工夫が全くないというわけではなく、あった場合には適正な設計変更等を行い実施している。

排水路の清掃を

問 中島ポンプ場の増設工事に関連し、久礼地区の市街地の排水路を業者を入れて清掃すべきでは。

池田町長 町としては、問題が起き、住民の皆さんから相談があつてから対応している。全体を町が管理をするということには至っていない。生活環境の悪化が顕著なところは、今後もしっかりと対応していく。

は 県道窪川中土佐線改良

問 県道窪川中土佐線の大野見吉野から長沢間は、現状14歳で25分かかる。それが改良工事すると10歳で10分になるという計画が出ている。所見は。

池田町長 南海トラフ地震に備え複数の道路を確保するということも含め、県の方針である1・5車線で待避所を設け、視距（見通しできる距離）改

良などで取り組んでいかなければならない、なかなか仕上がらないと感じている。

新庁舎入札は

問 「入札契約制度に関する基本方針」の中で、請負対象金額7億以上の建設工事の発注は一般競争入札によるものとなっている。ただし、特別な事由により町長が必要と認めた場合は、制限付き一般競争入札及び指名競争入札に付することができ

とある。新庁舎の入札は指名競争入札だが理由は。

三本副町長 一般競争入札では任せるにふさわしい業者のみが集まるとは限らない。指名による価格競争というのは非常にシンプルにできる。選定のある入札制度を活用すべきと考えた。

池田町長 技術力を持った企業にお願いしたい。



早期の改良が望まれる県道窪川中土佐線



下元 道夫

問 地産外商マネージャーが就任して2年7カ月になる。農林業・水産業・商工業の実態把握と町の自慢の品、宝物探しをどのようにしてきたか。地産地消・外商にどう取り組んできたか。

竹邑水産商工課長 道の駅開業とともに、出荷者の方々の力も借りながら、新たな商品探しをしている。地産地消では、給食センターへ地産品を納入している。鰹乃國水産からは「ゴシ鰹」を給食センターに納入している。外商事業は、「莓大福」の販売を始めた。

問 社会保険料を含めると約600万円のお金をマネージャーに出している。私は、現場の方々から

地産外商マネージャーは

良い形になるよう指導

「正直言って極めて不十分です。もっと現場に出ていくべきだ」という話を聞いた。

外商は、外にどう売っていくかということだ。

池田町長 十分とは言えないので、今後さらに話し合いを進めながら、より良い形になるよう指導していく。



「莓大福」の販売開始。次の日も検討中の地産外商マネージャー

鰹乃國水産の 運営体制と業務の状況は 職員の応募なく1人体制

問 漁協・漁業関係者との話はどうなったのか。
(職員が退職し)4月から3カ月が過ぎようとしているが、いまだ1人の現状と思われる。今後どのようにしていくのか。

竹邑水産商工課長 4月以降、漁協・漁業関係者との協議は行われていない。今後、協議の日程を調整したい。

運営体制と業務の状況は、職員を募集しているが、応募がなく1人体制

7月6日のカツオの水揚げ



水揚げはあるが、体制が整わない鰹乃國水産

である。現在本格的な生産体制が整っていないため、出荷量も限られている。打開に向け頑張っている。

えるが。

池田町長 こういうイベントは全国にない。町民の魂のイベントだ。多少形態は変わるかもしれないが続けていく。

「かつお祭」の今後は

問 今年で29回。漁師から販売人など、たくさんの方が握り飯とお茶だけで今日までやってきた。そこが大事だ。まちづくりに関わる人を育て継承していくという意味で、かつお祭は非常に重要と考

その他の質問

▼観光振興は
「道の駅」と産業振興・雇用対策は



松下裕之

教育長の所信は

担当任せにせず自ら対応

問 教育長になって感じたところは。学力向上はもちろん、道徳・人権教育にも取り組んでいくと思う。社会問題となつていく虐待・いじめ・不登校に対する考えを聞く。

岡村教育長 委員会の対応の広さに戸惑い、責任の重さを痛感している。人の意識や価値観も多様化している。人間関係の希薄化や心の荒廃が浮き彫りになり、重大な事件・犯罪が発生している。心豊かな人間育成のためにも生涯学習を推進していく。



教育委員会事務局で事務の報告を受ける岡村教育長（右から2人目）

問 教育委員会には多くの関係機関がある。関係者とのコミュニケーションが大事になってくるが考えは。

岡村教育長 事務局内で報告・連絡・相談等、毎日密にしていける。時には担当任せにせず、自ら対応する事も必要かと考える。

移住対策事業は

子育て世代の移住を

問 町の移住対策の企画はどういったものがあるか。

下元企画課長 ソフト事業では、「新婚・子育て世帯住宅取得事業費補助金」「移住者及び子育て世帯住宅改修補助金」がある。移住相談員は2人配置している。

ハード事業では、中間管理住宅・移住体験住宅がある。移住定住団地では分譲宅地10区画を計画している。

問 平成29年度中間管理住宅には5件の入居があったが申し込み数と選考方法は。

平田総務課長 22件の申し込みがあった。選考基準に基づき選考し、決め難い場合は抽選になる。3件の住宅は抽選だった。

問 移住者を優先させるといふことにはならないか。

中間管理住宅 町内の空き家を町が借り上げ、耐震化や水回りなどの改修を行い、町の管理の下で移住・定住希望者への貸し出しを行う住宅。



久礼長沢地区の中間管理住宅

平田総務課長 定住としての応募も多くある。定住にも力を入れていきたいと思っている。

池田町長 人口減対策、移住者対策は非常に重要だ。子育て世代の方に移住してもらいたいのが正直な気持ちだ。

その他の質問

▼平成30年度の重点施策は



窪田 和教

就学援助費の 入学準備費引き上げを 平成31年度に向け検討

問 就学援助は、経済的困難な保護者に給食費や学用品費などを助成するものだ。

平成29年の文科省通知で、入学準備費が小学校で4万6000円に、中学校が4万7400円に増額された。また、入学前

の3月支給も可能だとした。この通知を受け、須崎市や日高村などでは入学準備費を引き上げた。また、全国で4割の自治体が入学前の3月に支給している。入学準備費の支給時期と金額は。

今橋教育次長 小学生で1万9900円。中学生で2万2900円だ。支給は6月末からだ。

問 保護者が入学準備にける金額と現在の援助額には隔たりがある。町長の政治判断も必要だ。

池田町長 全国の市町村が就学援助金を引き上げる措置をしているようなので平成31年度に向けて検討していく。

問 就学援助を受けることが恥ずかしいことではないという情報発信を保護者にしてほしい。同時にプライバシー保護に注意をしていただき、必要な子どもに援助が届くよう求める。

中土佐町準要保護児童生徒就学援助費目及び援助額

費目	学用品費	新入学児童学用品費	修学旅行費	校外活動費(泊なし)	校外活動費(泊あり)	給食費
小学校	1年生 11,100円 2～6年生 13,270円	19,900円	実費	1,570円以内	3,470円以内	実費
中学校	1年生 21,700円 2～3年生 23,870円	22,900円	実費	2,180円以内	5,840円以内	実費

岡村教育長 プライバシーの保護に留意し、慎重に対応している。学校と教育委員会が情報を共有し必要な子どもに届くようにする。

子どもの安全のため バス利用拡大を

有効であり検討する

問 5月に新潟市で、下校途中の女子児童が犠牲になった事件が起きた。行政に携わる者の責務は安全確保に全力を挙げることだ。文科省は安全確保のために路線バス等の活用を求める通知を出している。バスの活用は犯罪や交通事故から子どもを守るために有効と思うかどうか。

岡村教育長 バス活用は有効だと思う。運行ダイヤの関係もあるが、学校や保護者の要望を含め検討していく。

問 夏休みにはプール教室も開かれる。開始時間が9時半か10時で、仕事をしている保護者は送り迎えができない。夏休み中もバス利用ができないか。

岡村教育長 ご指摘のことは学校と共に検討する。



路線バスを利用する大野見小学校の児童

その他の質問
▼子どもの貧困は

非正規職員の実態は

各種手当はあるが

ボーナスなし

問 中土佐町の職員は、正規職員が137人、非正規職員が120人で、非正規雇用率は46・7割である。町行政を推進していくため非正規の人々の戦力は非常に重要だ。非正規職員の採用はどういう方法か。

問 雇用期間・一時金（ボーナス）、通勤手当は。

平田総務課長 雇用期間は、臨時職は基本6カ月、嘱託職員は12カ月だ。各種手当は規則で決めているがボーナスの規定はない。

問 ひとり親家庭は経済的に苦しい。非正規であっても配慮した対応があってもいいと思うが。

今橋教育次長 非正規のひとり親の実態は把握していない。公平にやっているとのが基本と考えている。

岡村教育長 公平さをもって採用していくが、一定の考慮はしていく必要があると思う。



保育現場では50%の職員が非正規職員
(写真は久礼保育所)

問 保育は正規と非正規が半々だが、非正規職員がクラスを持つ例はないか。

今橋教育次長 混合保育を正規と非正規の複数で持つ例はある。

問 障がい者の雇用はどうか。

平田総務課長 障害者雇用促進法で2・5割の雇用義務があるが、本町は3・13割で達成している。非正規職員は把握していない。

問 町内の各事業所の雇用形態を把握しているか。

竹邑水産商工課長 把握し

ていない。正職員、非正規職員のバランスは各事業所の形態によると思う。

問 一定数の正職員の確保は必要と思うがどうか。

三本副町長 確保は必要と考えている。

池田町長 120人の非正規職員のうち80人が教育委員会だ。正規の保育士は応募が少ない。職員の数とは定員適正化計画に基づいてやっている。

役場及び道の駅なかとさの非正規職員の割合

	非正規の割合
中土佐町役場	46.7%
道の駅なかとさ	75.0%

地域の伝統行事存続を

教育委員会として役割を

問 3月に廣埜神社の取材をし、運営をされている

人たちから話を聞いたが、存続が難しいと苦勞しておられた。久礼八幡宮のおみこさんの頭屋の人も続けていくのが大変と話していた。実態を把握し、存続のため地域と一体になって取り組む必要があると思うがどうか。

岡村教育長 地域の伝統行事の継承は厳しい環境にある。継承していくため何が必要で、誰が何を担うか、保存会の方々の考えを伺いながら教育委員会としてできる役割を担っていく。



存続が危惧される廣埜神社の祭り



山本 建生



高橋 雄造

問 高樋沈下橋は、観光面だけでなく子どもたちに対する有意義な現地教育の場所と考える。現在・将来に対する子どもたちの自然教育を含め、町としての活用と構想は。

岡村教育長 大野見小・中学生に対し、年に1回程度ふるさと学習として活用している。交流事業として町外から子どもが来た際も町内見学の一環として活用しており、今後ふるさと学習として取り組んでいく。

高樋沈下橋を教育に ふるさと学習として



観光面だけでなく、教育の場としても活用できる高樋沈下橋(上)と台湾からの観光客の方々(右)

公園に遊具の整備を 自治会等の管理であれば

問 子どものいる地区の公園の管理状態、遊具の整備状況と今後の考えは。

鍋嶋建設課長 町の管理する公園は10カ所ある。本年度に点検予定で修繕や更新、廃止の検討を行う。新たに設置する計画は現在ない。公園の利用状況に変化が生じた場合には検討できるものとする。

問 全体的に子どもの数は減少しているが、増えている地区もある。親からは「もう少し遊具を増やしてほしい」との要望があるが。

平田総務課長 (町営) 住宅に併設する遊具となる維持管理等の面があり現状では難しいと思う。自治会等で管理ができるのであれば、検討もしていけると思う。



町営住宅敷地内に併設された公園(大野見奈路団地)

休耕田にイタドリを

問 高知市の鏡地域では県の特産品として、イタドリを有望な食材と捉え、商品化に取り組むため、栽培を行っていると聞く。中土佐町でも中山間地域振興の一環として栽培を試みる考えはないか。

池田町長 今後、研究を進め、販路も含めて広く啓発していくことが重要だ。皆さんと情報を共有しながら検討していきたい。



山下世仁尋

問 前任者が退職され4月から新体制となった文化館の図書室の現状と運営は。
また、将来的には図書室を正式な図書館レベルにする考えはないか。

図書室の現状と運営は

教育委員会事務局が対応し

定められた時間には開館



開館日が分かりにくい文化館の図書室

今橋教育次長 現在の開館日は、当初から多様なニーズに限られた人員で対応するため設定されたものだ。
司書資格保持者の嘱託職員が1人、臨時職員3人の勤務体制だ。臨時職員で対応できない場合は、教育委員会事務局職員が対応しながら定めた時間には確実に開館する。
中土佐町には文化館の図書室と上ノ加江公民館、大野見青年の家と三つの図書室がある。将来的には三つの図書館および図書室が、システムを介し連動して運営できるよう計画を練っている。



冬場はダルマストーブでの暖房となる大野見青年の家の図書室

平成32年には図書館としてスタッフの体制、会館時間の延長、施設の整備充実など多くの課題改善に取り組む。
問 大野見青年の家の図書室は、ダルマストーブを使用している。危ないのではエアコンに換えてもらいたいとの要望があるが。
今橋教育次長 図書室という設備からしてダルマストーブは当然危険性を伴う。十分な冷暖房機能を備える設備を考えている。

問 南海トラフ地震大津波に備え、美術館の高台移転の検討が始まった。本陣敷地周辺と説明を受けたが予定はいつか。収蔵庫も同時移転か。
今橋教育次長 移転候補地調査は現在、委託業務の準備中である。調査の完了はこの夏から10月頃の見込みだ。

美術館の高台移転は

黒潮本陣周辺に



移転が計画されている町立美術館

寄贈品である数々の作品を保存することは、町として大事な責務と考える。
道の駅に近い黒潮本陣敷地付近が、ベストと判断している。専門的な観

点と調査結果が必要で、相互に相乗効果を生む施設とならなければならない。
収蔵庫も作品移動等の場合、当然美術館と併設か、その中に設けることがベストと考える。
池田町長 美術館の高台移転は財政出動を伴うが、かけがえのない宝だ。行政としてしっかり守らなければならない。



黒原 昭一

種子法廃止の影響は 町農業へは当面影響なし

問 平成29年、主要農作物種子法が廃止された。高知県ではどのような取り組みをしてきたか。また、同法が廃止されたことで町の農業にどのような影響が考えられるか。

西田農林課長 種子法に規定されていた県の役割は、稲の奨励品種の決定や県農業技術センターにおける奨励品種の指定原種および指定原種の生産だ。種子協会の設置、種子の生産農地の審査、生産物審査の実施等であった。奨励品種として「ヒノヒカリ」「にこまる」など13品種が奨励品種として指定されている。県は高知県主要農作物種子生産要綱を施行し、これまでと同様の内容に取り組みと聞いており町農業への影響は当面ないと考える。



新設された道の駅への案内標識

道の駅の看板を

占有許可を県に申請中

問 県道から道の駅への入り口が分かりにくいため、行き過ぎそうになり、慌ててハンドルを切る光景をよく見かける。看板設置が必要ではないか。

竹邑水産商工課長 左折箇所を通り過ぎる事例は聞いている。左折案内の方法として道の駅から県道に入る際に視界を遮らな

い案内標識を制作中だ。県有地なので、占有許可を県に申請中である。

道の駅出荷者協議会は

問 直販所の運営は、直販所出荷会員規約・出荷者協議会規則に沿った運営をされていると思うが、何回開催したか。

竹邑水産商工課長 出荷者協議会はこれから立ち上げるところで、出荷者との話し合いは一度あった。現在、立ち上げの準備中であるのでできてない。

道の駅の直販スペースは

問 メジカ漁の最盛期には、売り場面積が狭く商品が展示できないと不満の声を聞いたが対策は。

池田町長 現在の建屋を利用しながら簡易な増築はできるのではないかと話している。今後いろいろ工夫していく中で必要に応じて対応していきたい。

設を建てたらと提案があるが。

池田町長 消防の跡地は、広場として整備し、イベントも含めて柔軟に使えるスペースにしたいと考えている。

消防跡地に簡易宿泊施設を

問 消防跡地に簡易宿泊施



昨年9月の道の駅でのメジカの販売

私は、賛成・反対 しました。

《 6 月定例会の主な議案と議員の賛否 》

○・・賛成 ●・・反対 除・・除斥 退・・退席 /・・議長

審議した議案等	議員名	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則	可 否
専決処分の承認（町税条例の一部改正） ※地方税法の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（国保税条例の一部改正） ※地方税法の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成29年度一般会計補正予算（第7号）） ※決算を見込み最終調整を行い歳入歳出それぞれ66億8763万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）） ※決算を見込み最終調整を行い歳入歳出それぞれ310万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）） ※決算を見込み最終調整を行い歳入歳出それぞれ12億2916万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）） ※決算を見込み最終調整を行い歳入歳出それぞれ3862万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成29年度介護保険特別会計補正予算（第5号）） ※決算を見込み最終調整を行い歳入歳出それぞれ12億4691万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認（平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）） ※決算を見込み最終調整を行い歳入歳出それぞれ1億1909万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
農産物加工販売施設の設置及び管理に関する条例の廃止条例 ※風工房の移転に伴い、旧施設を普通財産とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ※「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計補正予算（第1号） ※上ノ加江公民館撤去費など3814万円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ77億5624万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて （山添岳廣氏について議会に意見を求められたもの）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて （中城守氏について議会に意見を求められたもの）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて （高橋園江氏について議会に意見を求められたもの）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	適任
用途廃止意見書の地盤確認調査を求める陳情		●	●	●	●	●	●	●	●	退	●	●	○	不採択
中土佐町公共施設移転事業における中土佐町商工会会員企業優先発注等に関する陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

委員会活動報告

6月定例会の初日（6月13日）、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

総務常任委員会

未利用地の有効活用を

町有財産等を調査

の三つに分けられる。
活用できるものとして、大野グラウンド付近の土地がある。総合振興計画の中で総合グラウンドとしての整備計画があり、駐車場等への活用が可能だ。

売却可能なものとしては、大野見・上ノ加江・久礼にそれぞれ1カ所ある。公募により適正な価格での売却をしてもらいたい。
活用が難しい土地は、管理が長期にわたると考えられる。管理を徹底し周辺住民の意見などを参考にしながら有効活用に努めるよう担当課に求めた。

- ④ 4月19日、利用されていない町有地を調査した。未利用地は、大野見・上ノ加江・久礼の3地区に数カ所あるが、大半は合併前に道路の拡幅などの事業で取得した土地だ。未利用地は、
- ③ ② ① 事業に活用できる売却が可能
- ③ 当面は活用が難しい



総務課の担当者から未利用の町有地の説明を受ける総務常任委員（4月19日）

産業建設常任委員会

黒潮本陣での食事が予約制に

水産業・商工観光を調査

水産業に関する調査は、担当課より町内の水産業、漁協の現状と課題の説明を受けた。その後、後継者問題、新規就漁者への補助等の協議を行った。また、県漁協矢井賀支所は3月30日から閉鎖されているが、今後、適任者

がいれば再開するとのことだ。
商工観光に関する調査は、「商店街の活性化」「空き店舗対策」「道の駅なかとさ」等16事業の説明を受け、協議を行った。黒潮本陣は、レストラン

が予約制（5人以上）となったが、料理人の確保等事情もあろうかと思われるが、今後経営会議の中で実態把握をするとのことだ。
また、(株)地域振興公社と(株)SEAプロジェクトの役員は、「両施設とも代表者が町長になっている。検討すべきではないか」との意見が出された。



平日は予約制となっている黒潮本陣レストラン

社協と意見交換

所管課の現状と課題を調査



中土佐町社会福祉協議会と意見交換を行う教育民生常任委員（5月22日）

4月23日、教育委員会・町民環境課・健康福祉課の現状と課題を調査し、担当課から説明を受け意見交換を行った。

教育委員会からは、生徒数の将来推計、小中一貫校や統廃合、教員の負担軽減、学校施設管理の中長期計画など。町民環境課からは、戸籍担当職員の育成、個人情報関連業務、昼休み窓口業務、国保赤字対策、水道事業など。健康福祉課からは、少子高齢化による多方面の業務の実情の説明があった。

健康福祉課に関連して5月22日、社会福祉協議会長・事務局長・各部門の責任者と意見交換を行った。

社協は多くの事業を72人（うち76名は非正規職員）の職員で実施している。人材の育成、安定的財源確保など長期的な取り組みについて意見交換を行った。

「道の駅なかとさ」 レジ通過者が33万人超に

池田町長の行政報告

●平成29年度決算見込み

一般会計、特別会計とも黒字決算となる見込みだ。なお、国民健康保険特別会計には、一般会計から2208万2277円繰り入れた。

●公共施設移転等事業

消防庁舎・保育所用地の造成工事は、年内に完成予定だ。役場庁舎の発注方式は、全国規模での指名競争入札で行い、着実かつスピード感をもって進める。

●防災対策

自主防災会連絡協議会が町内で3回（久礼・大野見・上ノ加江）研修会を実施した。6月3日に大野見地区を対象に避難訓練を実施。約220人が参加した。

今年度、久礼・小矢井賀両地区に防災格納庫の整備を予定している。

●SEAプロジェクト事業

来場者数（25万人に対して33万4千人）・売上額（2億5800万円に対し3億5,960万円）とも想定を超える実績があった。

●かつお祭

交通混雑等が懸念されていたが、事前に準備した駐車場が有効に機能を発揮した。次回のかつお祭は節目の第30回となるが、鯉乃国中土佐らしいイベントのあるべき姿を示したい。

●坂本健二造形展

7月7日から29日まで町立美術館で「サンダーバードと共に夢を追って」と題した特別展を開催する。中土佐町出身の造形作家であり、町としても積極的に広報活動を行う。

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成30年4月1日～平成30年6月30日)》

日付・会議等		議員名	黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守泰	中城重則
4月10日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月19日	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月20日	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月23日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月 9日	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月22日	教育民生常任委員会（社会福祉協議会）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月24日	産業建設常任委員会（町内）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月 7日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月13日	6月定例会＜1日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月18日	6月定例会＜2日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月19日	6月定例会＜3日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月21日	6月定例会＜4日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席

●・・・欠席

△・・・一部欠席

／・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。



陳情者から意見を聞く産業建設常任委員とその後場所を移しての協議（5月24日）

Q 議員は何をしゅうが？

《議長的主要活動状況（平成30年4月1日～平成30年6月30日）》

● 4月

- 1日 大野見北地区振興会通常総会【(代理)副議長】(旧大野見北小学校)
- 9日 都市計画審議会【議長・産業建設常任委員長】(中土佐庁舎)
- 11日 忠霊塔灯籠移設工事完成に伴う神事(久礼忠霊塔前広場)
- 15日 久礼八幡宮直会殿竣工祝賀直会【正・副議長】(久礼八幡宮)
- 16日 須崎地区地域安全協会監査(中土佐庁舎)
- 27日 合区の早期解消促進大会(東京都／全国町村会館)

● 5月

- 10日 平成30年度須崎地区地域安全協会総会(須崎市／須崎警察署)
- 第36回高幡町村議会議長会定期総会(津野町／保健福祉センター)
- 13日 平成30年度物部川・仁淀川総合水防演習(南国市／物部川河川敷)
- 14日 道路整備期成同盟会高知県地方協議会通常総会
道路整備促進高知県大会(高知市／城西館)
- 20日 第29回かつお祭【正・副議長】(ふるさと海岸)
- 24日 中土佐町商工会通常総会(商工会)
- 25日 高岡郡高原畜産センター監査【本井議員】(中土佐庁舎)
- 27日 久礼小学校運動会(久礼小学校)
- 28日 平成30年度町村議会議長・副議長研修会【正・副議長】(東京都／国際フォーラム)
高知県議会産業振興土木委員会視察研修受入【産業建設常任委員長】(道の駅なかとさ)



議長が出席した高知市の城西館で開催された平成30年度道路整備促進高知県大会(5月14日)



議長・副議長が出席した第29回かつお祭のオープニングセレモニー(5月20日)



議長・副議長が参加した平成30年度町村議会議長副議長研修会(左)と会場となった東京国際フォーラム(5月28日)



● 6月

- 6日 第50回高知県警察官友の会 理事会・総会(高知市／高知商工会館)
- 14日 天川海道期成同盟会監査(四万十町役場)
- 21日 高幡消防組合との打ち合わせ(中土佐庁舎)
- 22日 平成30年度警察官友の会須崎支部 理事会・総会(須崎市／喜楽)
- 25日 高知県町村議会議長会理事会(高知市／自治会館)

一般質問など議会の様子をパソコン・スマホで



スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。生中継だけでなく平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。（上図はパソコンの画面です。スマートフォンの場合は少し違ってきます）

議会はどなたでも傍聴できます

9月定例会日程（予定）

9月12日（水） 行政報告・議案の提案
理由説明・委員長報告 他

9月18日（火） 一般質問

9月19日（水） 一般質問

9月21日（金） 議案等の採決 他

※日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。

議員がどこへでも出張する 議員出張懇談会

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。

ご希望がある場合は、お問い合わせください。

お問い合わせ先

中土佐町議会事務局 TEL52-2410 FAX52-4850
E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp

会議録をご覧いただけます。

インターネット中継映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局および中土佐町ホームページから議会のページに進むと（上図「一般質問など議会の様子をパソコン・スマホで」の○）ご覧いただけます。

議会に対するご意見 などを募集しています。

ご意見や感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

投稿先

〒789-1301
中土佐町久礼 6602 番地 2
中土佐町議会事務局

「ありゃ どうなっちゃうぜよ」 追跡

今号では、松下議員が平成28年3月定例会で質問した「サンダーバードの活用を」の質問を追跡しました。

〔平成28年3月定例会〕

サンダーバードの活用を

問久礼出身でサンダーバードの人形を作成している人がいる。奥四万十博などで活用できないか。

池田町長 奥四万十博には厳しい。セキュリティー



坂本健二造形展で作品を語る坂本氏



の問題もあり、美術館を使うしかないが、来年秋まで事業が詰まっている。しかし、日本で唯一の作家である。今後、展示に向け取り組みたい。

■その後の対応

7月7日から29日まで町立美術館で、「坂本健二造形展」サンダーバードと共に夢を追って」と題した特別展が開催された。

期間中には、坂本氏によるギャラリートークやワークショップも行われた。



地域の声を聴いて！ 視察は役に立ちゆうが！

声

昨年度実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。



中城重則議長

箱物行政は全国的な問題になっていきます。道の駅の直販所の問題や大野見庁舎など古い建物の利活用の問題も、町民の皆さまからさまざまな「声」をお伺いしています。

今後は、より一層議論を活発化させ、町民の皆さまの「声」を生かすことができる議会を目指したいと思います。

★「新しい建物ばかり建てる」「道の駅の直売の売り場が少ない」「古い建物を生かす工夫」等、議員は町民の代表であるので、地域の声を聴き、本当に役立つ議論をしてほしい。

★視察研修はどのような基準で決めているのでしょうか。本当に視察で見てきたことが町政に生かされていますか。

視察研修は「防災対策」「道の駅」「少子化対策」など町が直面する課題や議会が取り組まなければならない「議会改革」などを主なテーマとし、視察先を決めています。

防災対策や議会インターネット中継など研修が生かされたところもあります。しかし、目に見える成果が表れていない部分があるのも事実です。

先進地で研修することによって、議員各自が新しい知識を得て意識改革を行い、先進地の事例を中土佐町方式に加工し、町政に反映させていくことが大事です。また、そうした議会を目指したいと思います。



今年度の「議会だより」の表紙の写真は「地域で頑張る仲間」を取り上げます。

今回は、大野見北地区で旧七夕に飾る、わらで作る馬を残していこうと頑張っている人たちです。

七夕まつりは、中国で技巧や芸能の上達を願って行われた「乞巧奠」(きこうでん)が元になり、織姫と彦星の「星伝説」や各地の行事などが重なり合い混ざり合い、今の形になりました。

大野見北地区では、旧の七夕の日にわらで作った馬を飾る風習が残っています。

わら馬を残していこうと、地域おこし協力隊が呼び掛けた作り方の講習

会が大野見源流の里で開かれました。岡村寿木さん(83)、戸田健一さん(70)らの指導で30人がわら馬作りに挑戦しました。

「左手のわりに、指の間を通したわらを5回巻いていく」との説明にみんな真剣な表情で馬づくりに挑戦。2時間ほどで馬の形ができました。

わら馬は、織姫と彦星を背中に乗せて天の川まで運ぶとの言い伝えがあり、4本の脚は飛行機の翼のようにピンと開いているのが特徴。ここでは、「とび馬」と呼ばれ、飾るときも2体が向かい合うように置かれます。十数光年から二十数光年の宇宙のかなたで1年に一度の2人の出会いを助ける優しくも格好いい、天かける馬です。

この「とび馬」を作れるのは岡村さんら数人になっています。参加者からは「作り方をビデオに残しておきたい」などの声が聞かれました。

わら馬づくりを指導した岡村さんから

父親の作るのを見て中学生のときに初めて作った。北地区では家の前の小川を天の川に見立て、縄を張り2対の馬や野菜などを飾る風習が残っている。伝統文化の「とび馬」を地域の人たちに引き継いでほしい。



「星に願いを」講習会に参加した現在の織姫と彦星



完成したわら馬



わら馬づくりの指導をする岡村さん

つぶやき

以前は、若者たちが排気量の大きな中古車で走る姿をよく見かけた。

中には70万円のカーステレオを付けている者もいた。今そという光景を見ることはない。若者たちの多くは手取り月収10万円前後、親と同居で何とかやっている。朝6時頃家を出て、夕方7時頃帰る者は20万円余りの収入だが手取りは15万円前後と聞いた。どちらも家庭を持ち子どもを育てられる状況ではない。一部のエリートたちを除き、多くの若者たちにとつて暮らしていく困難が増すばかりで、地方の貧困と格差は拡大し続けている。

10年間で1400人余の人口減少が続く中土佐町。この町で生まれ育ち、住み続けたいと願う者たちの望みがかなう町であってほしいとも思う。議員になって7カ月、多くの人々からどんな思いを託されたか考え行動する毎日だ。

中土佐町議会議員 山本 建生

中土佐町議会広報常任委員会

委員長	下元 道夫
副委員長	窪田 和教
委員	山本 建生
	高橋 雄造